



平成28年12月9日

各位

東京都八王子市美山町2161番地21  
株式会社菊池製作所  
代表取締役社長 菊池 功  
(コード番号：3444)  
問合せ先 取締役経営企画部長 乙川 直隆  
電話 042-651-6093

平成29年4月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年6月17日に公表いたしました平成29年4月期（平成28年5月1日～平成29年4月30日）の連結業績予想及び個別業績予想につき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年4月期通期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,820	46	131	100	8.11
今回修正予想(B)	5,920	△469	△436	62	5.08
増減額(B-A)	△900	△515	△567	△37	△3.00
増減率(%)	△13.2	—	—	△37.0	△37.0
(ご参考)前期実績 (平成28年4月期)	5,919	△574	△407	△804	△65.54

2. 平成29年4月期通期 個別業績予想数値の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,900	120	93	7.54
今回修正予想(B)	5,120	△330	133	10.80
増減額(B-A)	△780	△450	40	3.24
増減率(%)	△13.2	—	43.0	43.0
(ご参考)前期実績 (平成28年4月期)	5,104	△367	△1,005	△81.87

3. 修正の理由

上期において、試作・金型の既存加工事業における情報通信機器、精密電子機器の加工分野の受注が期初の想定を大きく下回りました。これは、当該分野の市場における製品消費の落ち込みに連動した開発規模の縮小が主な要因であります。収益面については、市場規模の縮小に伴い価格競争が激化するとともに、板金や切削などのこれまで高利益を獲得できていた加工分野の受注が低迷したことで、全体の利益が低下しております。下期においては試作・金型の既存加工事業における市場規模の一定の回復が見込めるものの、期初の想定を上回るものではなく、引き続き厳しい状況となることを見込まれます。

また、新規分野であるロボット事業は主力のマッスルスーツが想定した計画を下回る見込となりました。工場・物流などの現場向けの販売は、建設や自動車作業場、航空貨物、各種倉庫など様々な現場で導入が進んでおり、市場規模は広がっているものの、大規模な導入を実施する現場の数が想定より増加せず、計画を下回る見込です。なお、介護分野向けの販売は、当初計画に対し上期においては導入の遅れが生じておりますが、通期においてはほぼ計画どおりであります。

この結果、連結業績においては売上高、利益ともに、個別業績においては売上高、経常利益は平成28年6月17日に公表いたしました予想を下回る見通しとなりました。

また、連結業績ならびに個別業績において、特別利益として「受取補償金」500百万円等の計上を見込んでおります。「受取補償金」としては、期初に営業外収益に一部見込んでおりましたが、これに加えて特別利益として発生するもので、この結果、個別業績において当期純利益は予想を上回る見通しとなりました。

なお、平成29年4月期配当予想は、変更ありません。

以 上